

平成二十八年度 大学院人文科学府修士課程第2期入学試験問題  
(国語学・国文学)

一 別紙Aの影印を全文翻字せよ。(二〇点)

二 別紙Bの記事について日本語史的観点から分析を加えよ。(二〇点)

三 次の事項について知るところを記せ。(四〇点)

(1) 発心集

(2) 気質物

(3) 位相語

(4) 於乎軽重義

四 次の中から志望専攻に応じて一問を選択し、解答せよ。(二〇点)

(国文学・中古中世)

・ 中古・中世文学史を考察する際、特に注目すべきだと考える作品を二つ取り上げ、その理由を詳しく述べよ。

(国文学・近代)

・ 詩歌史における近世から近代への展開について概観せよ。



別紙 B

① せへむらがり

せへむらがり△大各はかとうるべくれもかい大各太師をまわあるう△大各 清  
 前よ△大各 神んあふんもろくごんらごよびもとの列△大各を  
 むろでなまひゆるいぢももも入ふとせあが物△大各あ  
 りあせ△大各 せあもん用いひさごあもくもPとぞん  
△大各 せも前よ一はごんりませう△大各 ようらふか△大各 河  
△大各 ころ馬河物あは何ぞうだそうか△大各 されは何がよ  
 う西ころませうぞ△大各 せいおひつひて下うういよの  
 んころんれぬ物ら△大各 それういすんむらがりとだこ  
△大各 いとせあが物とあらあせ△大各 けうあごりませう  
△大各 かんり大あごう上かへのかりあごりしりてきれ  
△大各 ちくあごる△大各 りそけ△大各 ちくもくぞれうがた  
 のあごるふいそ板よあごらひやうに物とゆりら

狂言記三

けられするまがいのそいぐまらふごころPとよ部  
 さうにウごりまする。物れさて失念のううたごんあ  
 念とぞんせぬが何といそまうぞあいかひ物いばよる  
 ていつごんくあごるそれうも。きううまごんりませ  
 うぞ。せへむらがり物あ△大各 せへむらがり海中に住居  
 する。心もまぐにあひもくいひる。あふりのわらごん  
 どPとせうたごんりませう△大各 のあてせまは  
 物城のういんと。地をゆるぞ△大各 せもむでウごる。Pと者  
 てウたれいごんりませう△大各 ぞんせぬよ。いれく。まうに  
 Pとせうたごん△大各 のあてせまはひらとら物とお  
 見たりや。いれく△大各 のあてせまはひらとら物とお  
 とう地ふといふ△大各 のあてせまはひらとら物とお  
 せへむらがり物あごらひやうに物とゆりら